2010/07/05 (C)WWDジャパン 20面

実売を考えると難易度が高い人気トレンド。各セレクトショップがスタイリングを提案

ミニマリズムをリアルに着こなすコーディネイトとは?

「セリーヌ」のフィービー・ファイロが打ち出したミニマルなコレクションは、2010-11年秋冬コレクションで多くのブランドに衝撃を与えた。しかし、[illegible]月17日号で130人のプロ、[illegible]のバイヤーや[illegible]ショップ、アパレルメーカーの企画[illegible]、女性誌&ファッション誌のエディターやスタイリストにアンケートを実施したところ、ミニマリズムは"売れるトレンド"としての期待値は高いとは言えなかった。各セレクトショップは今シーズンの一大トレンドをリアルなスタイルとしてどう提案していくのか。

[illegible]

2010年春夏にデビューしたフィービー・ファイロの「セリーヌ」が見せたミニマルなスタイルが今シーズンになり、ようやく市場に浸透しそうな予感だ。各セレクトショップでも、秋冬のテーマにミニマルを掲げ、オリジナル商品を企画している。ユナイテッドアローズやトゥモローランド、ストラスブルゴなど、クラシックやトラッド、ベーシックなブランドテーマとしているショップでは、「ミニマルなテーマは現在分析を言えそうだ。お手本となるのは『セリーヌ』や『ステラ マッカートニー』。しかし、今シーズンのビッグトレンドであるシャーリングスタイルも、商品を見ればやや強引感が強い。『完璧ミニマルなコーディネイトは難しい。別を落としている分、コンサバになってしまう危険があるので、キーワードをプラスしたコーディネイトを提案したい』とストラスブルゴの浦野はのディレクター。各ショップとも、『アイテムでミニマルなスタイルを完成させるというよりは、チノパンやシルケクラウス、ジャケットなどを合わせたスタイリングで提案が可能になるとの印象を与える。また、シンプルなデザインだからこそ上質な素材感やマストと言えるものは揃えている。シャツには上質なポロシャツ、ブラウスにはシルクなど、素材でエレガントさを演出していく。

ミニマリズムやプレッピーなスタイルが受け身では大不振になりそうだが、カーコートやロングスカートにトラッドなニットやセンタープレスのパンツなどミニマルなアイテムを差し込んだミックススタイルが生まれそうだ。

INTERSCAPE FREE'S SHOP

ミニマルなコーディネイトにフェミニンな要素を差し込む

ミニマルはポイントで取り入れる

フェミニンな大人のスタイルを得意とするインタースケープ フリーズ ショップも今シーズンはキーワードにミニマルをあげ、余分なものを削ぎ落としたクラシカルなスタイルにフォーカスしている。「ミニマリズムはベーシックなアウターやニット、パンツとオリジナルで提案していきます。削ぎ落とされているからこそ、上質な素材やこだわったディテールが重要。オリジナルのほうが細かいところまで実現できると思います」と小野寺未佳プレス。「全身ミニマルなスタイルは難しい。ラインやシルエットで大人っぽいミニマリズムを見せつつ、フリーズらしくレースのインナーなど、フェミニンな要素を合わせたい。ワンピースではなく、ミニマルなスタイルはセパレートが多いので、コーディネイト提案がマスト」。秋冬の立ち上がりはミリタリーやプレッピーなスタイルを提案し、そこにニットやアウターでミニマルな要素をミックスしていく。

「インタースケープ フリーズ ショップ」のコートは3万9,900円、同レースブラウス9,975円、「ホレント エリオット」のホーボーパンツ2万2,050円、「ブバ」のクラッチ6万3,000円、「ペン アミュン」のネックレス2万3,100円。インタースケープ フリーズ ショップ丸の内店の中島清恵店長が着用

左:「インタースケープ フリーズ ショップ」のニット2万6,250円
右:「インタースケープ フリーズ ショップ」1万2,600円